

# 令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	農業	科目	総合実習	単位数	2	学年・学科	2学年・D科
教科書			副教材				

学習目標	<p>○農業クラブに関する体験的な学習を通して総合的な技術を身に付けます。</p> <p>○人間科学科の特性を生かした体験的な学習を通して総合的な知識と技術を習得させ企画力や管理能力を身に付け学習各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てます。</p> <p>○農業分野の当番実習や各分野の現場実習を通して職業観や勤労観、コミュニケーション能力を養います。</p>
学習方法	<p>○プロジェクト学習法を用い、実習を中心に調査研究・観察・実験・地域との交流などに主体的に取り組みます。</p> <p>○農業や家庭に関する課題を設定し、その課題の解決をととして専門的な知識と技術の深化・総合化を図ります。</p>

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					調査	調査以外
学習評価	a 知識・技能	農業や家庭の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、農業や家庭の意義や役割を理解している。	前期中間	25 %	0	25
			前期末	25 %	0	25
			後期中間	25 %	0	25
			後期末	25 %	0	25
	b 思考・判断・表現	農業や家庭の学習やプロジェクト学習などの遂行方法を適切に判断し、改善をはかるための仮説を立て、考えることができる。	前期中間	25 %	0	25
			前期末	25 %	0	25
			後期中間	25 %	0	25
			後期末	25 %	0	25
	c 意欲(主体的に学習に取り組む態度)	総合的な実習や体験学習を通して、各分野の総合化された知識とコミュニケーション能力などの実践的な技術を身に付け、調査結果や作業の記録やその技術を適切に活用できる。	前期中間	25 %	0	25
			前期末	25 %	0	25
			後期中間	25 %	0	25
			後期末	25 %	0	25

学期	単元名(題材)	学習内容(小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	○研究テーマの設定	・食農、被服、保育、福祉の4グループに分かれ、それぞれの課題解決のための研究テーマを設定します。	○	○	○	a:研究テーマについて、授業や実習に積極的に参加する意欲や態度が見られる。 b:計画は合理的で正確かつ詳細まで立てられている。 c:自ら設定したテーマ・課題についての問題解決を目指した研究の取り組みが見られる。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート ・意見発表原稿
	○年間計画 ○実施(調査・実習・観察) ○意見発表作文作成 ○意見発表会参加 ○農業クラブ活動	・年間の研究計画を立案します。 ・研究方法を考え実践します。 ・意見発表会を実施し主体的に参加します。	○	○	○		
	○作業実習	・野菜や果樹栽培を通して体験的な学習を行います。	○	○	○	a:実習に意欲的に取り組み、習得した技術を各分野で実践しようとする態度を身につけている。 b:実習の記録などから課題を発見し、分析し、工夫している。 c:実習を通して各分野に応用できる基礎的な知識や技術を身につけ、技術の役割や重要性を理解している。	

前期末	○研究活動中間報告	・研究の中間まとめを行い、中間の結果をまとめる方法について理解します。 ・各種行事に参加し、地域との連携を深めます。 ・研究中間報告を行います。	○	○	○	a:テーマに沿った調査・研究を続け、興味関心を高めている。 b::実施にあたり、様々な反省事項から問題点を検討できるように思考を深め判断している。 c:グループなどの話し合いや研究がなされ、継続的に全力を注いで実施されている。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート
	○農業鑑定競技 ○夏季特別実習 ○作業実習	・野菜や果樹栽培を通して体験的な学習を行います。	○	○	○	a:実習に意欲的に取り組み、習得した技術を各分野で実践しようとする態度を身につけている。 b:実習の記録などから課題を発見し、分析し、工夫している。 c:実習を通して各分野に応用できる基礎的な知識や技術を身につけ、技術の役割や重要性を理解している。	
後期中間	○研究活動継続 ○盛農祭準備 ○収穫感謝祭 ○研究のまとめと発表準備	・研究活動を実践します。 ・調査と実習の継続的な学習を行います。 ・盛農祭に向けた準備を行います。 ・研究結果のまとめを行いレポート作成と発表原稿、プレゼンテーション作成を行います。	○	○	○	a:調査・観察・研究した結果をまとめ、適切に表現している。 b:授業や実習で学んだことを理解し適切に利用している。 c:情報処理機器を利用し、研究成果をまとめ、その内容をわかりやすく発表できるようプレゼンテーションづくりの工夫が見られる。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート
	○作業実習	・野菜や果樹栽培を通して体験的な学習を行います。	○	○	○	a:実習に意欲的に取り組み、習得した技術を各分野で実践しようとする態度を身につけている。 b:実習の記録などから課題を発見し、分析し、工夫している。 c:実習を通して各分野に応用できる基礎的な知識や技術を身につけ、技術の役割や重要性を理解している。	
後期末	○研究まとめ ○学科プロジェクト発表 ○校内プロジェクト発表 ○次年度の研究活動計画 ○研究まとめ ○学科プロジェクト発表 ○校内プロジェクト発表 ○次年度の研究活動計画	・研究のまとめ、発表の練習を行います。 ・研究発表会を行います。 ・中間報告を作成し今年度の研究の振り返りと次年度の研究目標を明確にします。	○	○	○	a:学んだ知識・技術をもとに研究中間まとめの問題点を洗い出し、その解決方法を探り引き続き研究活動が続けることができる。 b:発表に備え、データの整理や解析を行い、今までの記録簿を科学的に考察し、当初の計画通りの成果にたどりつけたか検証している。 c研究成果をまとめ発表資料を作成しプレゼンテーションができる。	・出席状況 ・実習態度 ・実習レポート
	○作業実習	・野菜や果樹栽培を通して体験的な学習を行います。	○	○	○	a:実習に意欲的に取り組み、習得した技術を各分野で実践しようとする態度を身につけている。 b:実習の記録などから課題を発見し、分析し、工夫している。 c:実習を通して各分野に応用できる基礎的な知識や技術を身につけ、技術の役割や重要性を理解している。	